

公式通知 No.3

2017年5月26日
大会事務局

全日本エンタラント 宛

2017MFJ 国内競技規則の追加および改訂について

2017年4月1日以降に日本モーターサイクルスポーツ協会より発表された表記規則変更・追加について下記の通り公示し、即日適用とする。

公示

■平成29年4月19日公示 技術使用の規則追加について



Motorcycle Federation of Japan
FIM/FIM ASIA affiliated federation



平成29年4月19日

MFJ公認競技主催者およびエンタラント 各位

一般財団法人
日本モーターサイクルスポーツ協会
技術委員会

技術仕様の規則追加について

2017年度 国内競技規則書 技術仕様について下記のとおり追加を行う。
この規則は、即日で施行される。

1. スプロケット/チェーン

適用クラス : JSB1000

該当規則 : 7-24-9 (p175)

規則発行後の追加 : 青字部分の追加

7-24-9	スプロケット/チェーン
7-24-9-1	フロント(ドライブ)スプロケット、リヤ(ドリブン)スプロケット、チェーンピッチ、およびチェーンサイズは変更することができる。

以上

■平成29年4月28日公示 技術使用の規則改定、追加について



Motorcycle Federation of Japan
FIM/FIM ASIA affiliated federation



平成29年4月28日

MFJ公認競技主催者およびエントラント 各位

日本モーターサイクルスポーツ協会
技術委員会

技術仕様の規則改定、追加について

2017年度 国内競技規則書 技術仕様の下記項目について、規則の改定、追加を行う。
この運用は、即日で施行される。

1. タンクカバーの取り付けについて (新規則)

転倒時の燃料タンクと路面の直接接触回避のために下記の規則を新規則として制定する。

適用クラス：JSB、ST600、JP250

規則条項：JSB1000 7-13-9 ST600、JP250 7-3-33 項

転倒時に燃料タンクと路面の接触による破損を防止する目的でカバーを取り付けることが認められる。取り付けが可能となるカバーの上下の範囲はタンクサイド面積の1/2以下で、幅はタンクが取り付けられている範囲のフェアリングの最大幅以下であること。

その取り付けは、安易に脱落しないように確実に固定しなければならない。

- ・ JSB1000 クラスのカバーの材質は、金属の使用は禁止される。
- ・ ST600、JP250 クラスのカバーの材質は、金属およびケブラー、カーボン材の使用は禁止される。



注釈) 世界耐久選手権 鈴鹿 8 時間耐久レースは適用されない。

2. JSB1000 クラスのエアボックスに関する規則の追記 (新規則)

適用クラス：JSB1000 規則条項：7-18-5

エアボックスの外側に取り付け又は形成されたリップ及びステーについては、本来マニファクチャラーが公認車両用に製作した状態のエアボックス容量と密閉性を変更しない範囲で取り外し又は削除が認められる。

3. ラジエターステーの取り扱いについて

適用クラス：ST600、JP250 規則条項：7-3-16-2 の改定

7-3-16-2 ラジエターブラケットの改造または変更およびブラケット取り付け位置 (ステー) の変更。ただし、材質は公認時と同じものか鉄またはアルミ合金とする。

この改定により、「ラジエターステー」の取り外しが認められる。

■平成29年5月17日公示 JP250クラスの車両規則の解釈について



Motorcycle Federation of Japan
FIM/FIM ASIA affiliated federation



平成29年5月17日

MFJ公認競技主催者およびエントラント 各位

一般財団法人
日本モーターサイクルスポーツ協会
技術委員会

JP250クラスの車両規則の解釈について

JP250クラス公認車両のCBR250RR（公認日5月22日）に関して以下の通りとする。

1. ラムダクト（ラム圧）車両

該当規則 7-3-29-2 ラムダクト（ラム圧）付きの車両

7-3-29-2-1 エアクリーナーボックス、ラムダクトおよび吸気ダクト、エアファンネルをMFJが公認した車両の状態に維持しなければならず、変更または改造は許可されない。エアフィルター・エレメントは変更または改造、あるいは取り外すことができる。フェアリングの変更は認められるが、エアダクト取り入れ口の位置、形状、面積は、MFJが公認した車両の状態を維持しなければならない。

- ① ホンダCBR250RRは前方からのエアダクトがエアクリーナーボックスに直接接続されており、JP250クラスのエアクリーナー関連規則に照らし合わせ、MFJとしてラムダクト（ラム圧）付き車両の扱いとする。
- ② ラムダクト（ラム圧）付き車両の規定に合わせ、エアクリーナーボックス、ラムダクト（レゾネーター含む）、吸気ダクト及びエアファンネルは公認車両の状態を維持すること。変更または改造は禁止される。
- ③ ラムダクトの空気取り入れ口の位置（方向）、形状、面積は公認車両の状態を維持しなければならないが、インナーカウル（パネル）の取り外しは認められる。
- ④ ラムダクトの入り口に空気を導入するための導風板やダクトの追加及びカウル形状の加工は禁止される。



インナーカウル（パネル）

レゾネーター

2. その他

- ・純正タンクカバーの材質変更（カーボン、ケブラー材は禁止）は認められるが、公認車両時の形状を維持しなければならない。
純正タンクカバーの取り外しおよびカバーとポジション調整パッド等との一体式への変更は認められない。（タンク保護カバーおよびポジション調整パッド等の追加は可能）
- ・CBR250R とのホイールの互換性はない。
- ・ホイール ベアリングとスペーサーの材質は、鉄である。
- ・容量629cc以上のオイルキャッチタンクを装着しなければならない。